

平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	八ヶ岳 JOMON ライフフェスティバル
事業主体 (連絡先)	八ヶ岳 JOMON ライフフェスティバル実行委員会 (事務局：茅野市企画部縄文プロジェクト推進室)
事業区分	(8) その他地域の元気を産み出す地域づくりに資する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	14,206,234 円 (うち支援金： 1,943,000 円)

事業内容

2体の国宝土偶を有する茅野市で、縄文文化や縄文人の心(助け合いの精神、自然と共生した生き方等)を識(し)り、楽しみ、広める撮りくとして、市民や行政、商業関係者等様々な主体が協働して”生きる”をテーマに各種イベントを行うフェスティバルを開催した。

主なイベント…

- ・作家原田マハ氏講演「生きぼくら茅野に暮らすしあわせ」

- 「尖石縄文の里夜の火祭り」…巨大土器や小中学生政策土器の野焼き等

- 「支え合い事業」…市内障害者就労支援施設による縄文関連商品の開発。



【オープニングセレモニー】

【目標・ねらい】

- ①様々な主体が協働して縄文の価値を広める
- ②来場者数 1 万人
- ③HP アクセス数 9、10 月 2500 件
- ④尖石考古館入館 9、10 月 15000 人

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

市民や行政、商業関係者等様々な主体が協働して各種イベントを実施し、地域の連携を深めるとともに、考古学の世界だけではない縄文の価値に楽しみながら触れ、広げることができた。

当初イベント来場者数 1 万人を目標としていたが、29,425 人(考古館入館者を含む)と大きく上回る参加をいただくことができた。

※自己評価 【A】

【理由】

来場者数当初目標 1 万人に対し、3 倍近い集客を得ることができ、十分な PR 効果を得ることができた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

本フェスティバルは3年に1度のトリエンナーレ方式で開催する。今回得られた実績、地域団体との連携を継続し、次回、その次と成長発展させていきたい。

また、諏訪圏域を越え、長和町など中信、東信地域の縄文関連地域とも連携を深めていきたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある